

Typst Thesis Template

令和 6 年度 修士論文
京都大学大学院 工学研究科 機械理工学専攻
サウンドア라운드研究室

魚民

摘要

ここに摘要を書く

目次

1 テンプレートの使い方	1
1.1 概要	1
1.2 数式	1
1.3 図表	1
1.3.1 図	1
1.3.2 表	1
2 緒言	2
3 手法	3
3.1 実験手法	3
3.2 解析手法	3
4 結果と考察	4
5 結言	5
謝辞	6
参考文献	7
A 付録	8

1 テンプレートの使い方

1.1 概要

必要に応じて, contents フォルダ内の各.typ ファイルと thesis.typ に追記してください. 参考文献は ref.bib に記述してください. VSCode を使用する場合は, 拡張機能 TinyMist Typst を利用して PDF を出力すると便利です. 執筆時点(2024/11/19)での動作確認は, バージョン 0.12.2 で実施済みです.

1.2 数式

式 (1.1) は以下の通り.

$$\begin{aligned} y &= ax^2 + bx + c \\ &= ax^2 + bx + c \end{aligned} \tag{1.1}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & \dots & 10 \\ 2 & 2 & \dots & 10 \\ \vdots & \vdots & \ddots & \vdots \\ 10 & 10 & \dots & 10 \end{pmatrix} \tag{1.2}$$

$$\rho \frac{D\mathbf{v}}{Dt} = -\nabla p + \mu \nabla^2 \mathbf{v} + \rho \mathbf{f} \tag{1.3}$$

$$(-1.328\,65 \pm 0.502\,73) \cdot 10^{-6} \tag{1.4}$$

$$(1.3^{+1.2}_{-0.3}) \cdot 10^3 \text{ erg cm}^{-2} \text{ s}^{-1} \tag{1.5}$$

$$1,123'8 \cdot 10^{-2} - 3,086'8 \cdot 10^5 \tag{1.6}$$

1.3 図表

1.3.1 図

図 1.1 は以下の通り.

typst

FIGURE 1.1 Typst [1]

1.3.2 表

表 1.1 は以下の通り.

TABLE 1.1 表の例

項目	α	β
1	2.3	10 000
2	2.33	1.0
3	12.3	1993
4	0.001	1.2
10	17	0

2 緒言

なんてったって Typst

3 手法

描いた 描いた 描いた 描いた

描いた 描いた 描いた 描いた

描いた 描いた 描いた 描いた

描いた 描いた

3.1 実験手法

3.2 解析手法

4 結果と考察

多分, Typst.

5 結言

何の成果も！！得られませんでした！！

謝辞

Typst に感謝

参考文献

- [1] L. Mädje, A Programmable Markup Language for Typesetting, 2022

A 付録

サンプル